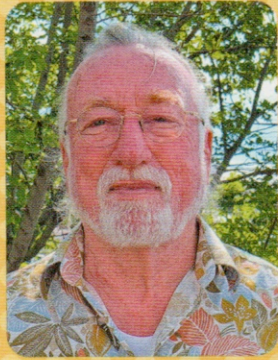


# 自治連合会だより

通刊  
103号



## 「災害に強いまちへ、 ともに進みましょう」

平城西地区自主防災防犯会会長  
ニックキャンベル

10月5日に登美ヶ丘中学校で、平城西地区防災訓練が開催されました。参加者は約240名でした。

この訓練を通して、イベントとしての体験を積むことで楽しく意識を高め、貴重な経験ができましたが、実際の災害時は安易なものではないことも心に留めることが必要。例えば震度7被災後、インフラ復旧まで

かかる時間は電気やガスが比較的早く1ヶ月程度でも、上下水道はさらに時間を要すると想定されます。と考えたとき、平日頃の自分たちの町における自助・共助がいかに大切かが再認識されます。

## 訓練スケジュール

主催：平城西地区自主防災防犯会/  
協力：登美ヶ丘中学校・奈良市消防署・同地区女性防災クラブ

- 8:30～ 各自治会で一時避難所に集合後、一次避難所の登美ヶ丘中学校へ移動
- 9:30 開会挨拶（自主防災防犯会会長）
- 講演：「令和6年能登半島地震への出動と災害への備えについて」（奈良市消防局消防課長の奥西健児さん）
- 10:00 自治会グループごとに体験

室内：応急手当・AED訓練、ライブ119通報訓練、非常食の試食と防災グッズの展示、子ども防災クイズ・スタンプラリー

屋外：車中泊できる車の展示（地区の防災士の資格も持つ中野さん）、筒状の通路を通り抜ける煙体験、消火器を用いた消火訓練、起震車による揺れの体験（本年の特別プログラム）



①講演に耳を傾ける参加者



②起震車で揺れを体験



③QRコードによる一次避難所入所手続きについて説明するキャンベル会長

に地区自主防災防犯会、自治会とともに自助・共助を推進し、「災害に強いまちへ」、また一歩進んでいきましょう。課題に、SNSが使えるがスマホの一般通話はほぼ繋がらないこと。そして公助が届くまでに時間差があることを忘れずに！

### 【参加者の一言感想】

● 車中泊できる車コーナーで防災士の方が「家で眠っている風呂敷を一枚、携行するか防災バッグに入れて下さい。風呂敷はいろんな場面でいろいろ使えます。」とおっしゃっていました。なるほどこういうちょっとした知恵の持ち合わせがいざという時、役に立つのだなあと思いました。（河上）

● 避難所開設のブースがあり、実際に災害が起こった時に、まず必要な事で、QRコードを使い被災者の把握ができる事がわかりました。（釘田）

● 起震車では、熊本地震を想定した震度7の揺れを味わい、けむり体験では、視界の通らない部屋で、方向感覚を失わないよう、右の壁を触りながら通過する方法を体験させていただきました。非常食の試食もあり、防災に役立つ体験や実践を参加型のスタンプラリー方式で回れたのも良かったです。（後藤）

● 消防への通報にスマホのカメラ映像を加えることで、的確な対話が出来た操作説明もあり、参考になりました。（坂本）